

消防・警察署届出一覧 【有明GYM-EX】

株式会社 東京ビッグサイト

<消防署届出一覧>

- 1 催物開催届出関係《ビッグサイトへの提出期限 開催7日前》
- (1) 観覧場又は展示場における催物の開催届出書……………S 1
 - (2) 会場管理計画……………S 2～4
 - ① 火災予防のための組織編成表<別表1>……………S 5
 - ② 自衛消防隊の編成と任務<別表2>……………S 6
 - ③ 会場自衛消防地区隊員の任務内容……………S 7
 - 2 自衛消防訓練通知書……………S 8
 - 3 自主検査実施結果表……………S 9
 - 4 電気設備の自主安全チェック表……………S 10
 - 5 禁止行為の解除承認申請書関係《通常の申請の場合 ビッグサイトへの提出期限 開催14日前》
《本庁協議の申請の場合 ビッグサイトへの提出期限 概ね開催2～1ヶ月前》
 - (1) 禁止行為の解除承認申請書……………S 11
 - (2) 申請内容明細書……………S 12
 - (3) 禁止行為者等及び禁止行為申請内容一覧表……………S 13
 - 6 消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書……………S 14
- ※ 以下の申請が必要な場合は、
東京消防庁ホームページ（<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/drs/ss.html>）から
ダウンロードしてご利用ください。
- 少量危険物、指定可燃物の設置（変更）届出書
 - 少量危険物・指定可燃物の廃止届出書
 - 火を使用する設備等の設置（変更）届出書
 - 電気設備設置（変更）届出書
 - 消防用設備等着工届出書（工事整備対象設備等着工届出書）
 - 消防活動に支障を及ぼすおそれのある行為の届出書

<警察署届出一覧>

- 1 催物開催届出関係《ビッグサイトへの提出期限 搬入開始10日前》
- (1) 催物の開催届出書……………K 1
 - (2) 緊急連絡体制……………K 2
 - (3) 搬入・搬出及び開催時の警備ポスト一覧表……………K 3・4

※ 提出部数

（警察署へ提出する催物の開催届出書へは代表者印又は会社印が必要です。）

消防届出

株式会社 東京ビッグサイト……………通常の場合3部、本庁協議の申請の場合4部

警察届出

株式会社 東京ビッグサイト……………3部

チェックリスト

- 「催物の開催届出書」（消防・警察とも）は、提出しましたか？
- 装飾で、感知・散水障害となるブースはありませんか？
- 自衛消防訓練の計画はたてましたか？
- 裸火使用・危険物品持込みはありませんか？
- ガスの使用はありませんか？ある場合は、施設側に相談しましたか？
- 「禁止行為の解除承認申請書」は提出しましたか？

※ 各種届出については、開催の1ヶ月前までにご相談ください。

観覧場又は展示場における催物の開催届出書

年 月 日

東京消防庁
深川消防署長 殿

届出者
住 所
電話 ()
氏 名

下記のとおり、催しを開催するので、火災予防条例第59条の 3 の規定に基づき届け出ます。
記

防火対象物の概要	所 在 地	東京都江東区有明一丁目10番1号
	名 称	有明GYM-EX
	構 造	<input checked="" type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 準耐火 (<input type="checkbox"/> イ・ <input type="checkbox"/> ロ - 1・ <input type="checkbox"/> ロ - 2) <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> その他 ()
	階 層	地上 3 階
	面 積	建築面積 17,300 m ² 延べ面積 27,460 m ²
	用 途	(4) 項 (展示場)
催物の概要	名 称	
	種 類	<input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> コンサート <input type="checkbox"/> スポーツ興行 <input type="checkbox"/> 物品販売 <input type="checkbox"/> 展示 <input type="checkbox"/> その他 ()
	予想来場者数	人
	使用場所	<input type="checkbox"/> 全体 <input type="checkbox"/> 部分 ()
	開催日時	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで
※ 受付欄		※ 経過欄

- 備考
- 1 届出者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 - 2 催物の使用状況を明示した防火対象物の図面を添付すること。
 - 3 火災の予防のための措置、消防機関への通報体制、消火活動体制、応急救護体制、避難誘導体制その他の催物会場を管理するために必要な計画を記載した図書を添付すること。
 - 4 ※欄には、記入しないこと。

会場管理計画 (作成例)

この計画は、有明GYM-EXにおける展示会開催にあたって、「(株)東京ビッグサイト消防計画」及び「有明GYM-EX防災ガイドライン」に基づき、消防計画としての会場管理計画を定め、災害の未然防止と入場者等の安全を確保する。

第1 会場管理組織

1. 展示会の主催者は、主催する会場の防火防災管理について、(株)東京ビッグサイト防火管理者のもとに防火防災担当責任者及び展示小間ごとの火元責任者を指定し管理する。
＜別表1＞
2. 防火対象物自衛消防隊のもとに地区隊を組織し、火災等に対処する。
＜別表2＞
3. 会場の防火防災管理業務及び災害時の自衛消防隊等の活動については、(株)東京ビッグサイト消防計画及び有明GYM-EX防災ガイドラインに基づき、第2以下を的確に実施する。

第2 火災予防措置

1. 喫煙の管理
 - (1) 当施設は、東京都火災予防条例により喫煙が禁止されているとともに、健康増進法に定める、多数の人が利用する施設であり、火災予防及び利用者の受動喫煙防止の目的から、定められた喫煙所以外は、全面禁煙となっておりこれを遵守する。
 - (2) 放送設備等を利用し、喫煙所の案内及び喫煙所以外での禁煙を呼びかける。
2. 裸火使用の管理
 - (1) 出展に際し、裸火の使用は必要最小限にとどめるよう、また、承認された使用要件を遵守するよう各出展者に指導を徹底する。
 - (2) 展示品の搬入及び小間の施工時に、防火防災担当責任者が裸火の使用要件を遵守しているかチェックと指導を行う。
 - (3) 出展者は裸火使用の取り扱いに係る担当者を指定し、安全・確実な取り扱いを行うとともに、監視・消火及び使用後の点検等の体制を確保する。
3. 危険物品の持込み
 - (1) 出展に際し、危険物品の持込みは必要最小限にとどめるよう、また、承認された持込み要件を遵守するよう各出展者に指導を徹底する。
 - (2) 展示品の搬入及び小間の施工時に、防火防災担当責任者が危険物品の持込み要件を遵守しているかチェックと指導を行う。
 - (3) 出展者は危険物品取り扱いに係る担当者を指定し、安全・確実な取り扱いを行うとともに、監視体制の確保及び危険物品の流出防止対策を行う。
4. 消防用設備等の管理
 - (1) 防火防災担当責任者は、消防用設備等が展示物品等により操作障害・視認障害とならないよう常時確認をする。
 - (2) 各出展者等が設置した消防用設備については設置者が点検する。
5. 自主検査
開場前に「自主検査実施結果表」及び「電気設備の自主安全チェック表」を活用し、会場内の点検と各出展者の指導を行い、会場全体の適正な自主管理を行う。

6. 避難施設の管理

- (1) 展示ホールは、一定の面積(1,056㎡ ※利用用途が各種セミナーや試験会場の場合 2,436㎡) 以下ごとに5m幅員以上の主要避難通路(防火帯)を設け、避難口に接続する。防火帯で区画された区画内に一定の面積(217㎡ ※利用用途が各種セミナーや試験会場の場合 533㎡) 以下ごとに3m幅員以上の補助避難通路を設ける。
- (2) 展示ホール南側は壁面より5m以上の通路を確保する。
- (3) 各通路を行き止まりがないように設ける。
- (4) 通路の床面はすべり・つまづき等の恐れがないようにする。
- (5) 担当者は開場前に、避難口の開錠、避難通路の確保等について点検する。

7. 収容人員の管理

担当者を指定し、混雑状況を把握して、必要により入場制限等の措置を講じるなど、入場者の適正管理に努める。

8. 閉館時の防火防災管理

- (1) 展示ホールの管理は、展示会主催者が責任を持って行う。
- (2) 電気(通電が必要な最小限の機器を除く)、ガス、火の使用などを停止する。また、再通電時は照明等の周囲に可燃物等が無いことを確認する。
- (3) ゴミ、廃棄物、不要品の処分などを行い、会場内の整理整頓をする。

第3 初期消火、通報、避難誘導

1. 初期消火

- (1) 消火担当者は、火災が発生した場合、身近にある消火器、屋外消火栓等を活用して消火活動を行う。
- (2) 火災に際し、火元以外の展示ホールの消火担当者は、消火器を搬送するとともに、消火器及び消火栓を使用して消火活動の支援をする。

2. 通 報

- (1) 火災発生時、展示ホールの通報連絡担当者は次の業務を行う。
 - ア 119番通報、警備センターへの連絡、周囲に知らせること及び応援要請等
 - イ 肉声及び放送設備等による消火担当者への消火活動の指示及び避難誘導担当者への避難誘導の指示
 - ウ 防火防災担当責任者への災害発生への報告と応援要請
 - エ 消防隊の誘導及び火災状況等の情報提供

3. 避難誘導

- (1) 展示ホールの避難口ごとに避難誘導担当者を配置する。
- (2) 避難誘導担当者は災害発生時、避難口を開放し、メガホン等を活用して適切な避難誘導にあたる。
なお、一時避難場所は、芝生大広場及び西芝生エリアとする。

第4 応急救護

1. 応急処置用医薬品等を備える。
2. 救護担当者を配置し、応急救護処置を行う。
3. 救護所を設置し、医師（ 名）看護師（ 名）を（ ）に待機させる。

第5 震災対策

1. 地震が発生した場合、状況によっては展示会を一時中断するなどして、次の事項を行う。
 - (1) 会場内火気設備器具の使用を即時停止する。
 - (2) 入場者の安全確認、展示物等の点検を行う。
 - (3) 火災発生の場合は、直ちに消火器等で消火活動を行うとともに警備センター等へ連絡する。
 - (4) 建物内・外の状況を把握し、防火管理者(警備センター等経由)に報告する。
2. 南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が発表された場合
 - (1) (株)東京ビッグサイト警戒本部と連携を密にするなど、的確な情報収集に努める。
 - (2) 混乱防止のため展示会を自粛する。

第6 展示品等の設営・撤去時の管理

1. 展示品等の設営・撤去時は、特に展示会場全般にわたり、防火防災管理について監視・指導を強化する。
2. 溶接・溶断、トーチランプによる加熱、グラインダーによる研磨等、発炎又は火花の発生を伴う作業を行う場合は、事前に防火防災担当責任者(主催者等)から防火管理者(窓口:営業各課)へ報告する。
3. 作業中は禁煙とし、喫煙は所定の喫煙所で行う。
4. 塗料は原則として水性のものを使用する。展示内容により危険物に該当する塗料を使用する場合は、必要最小限とし、作業場所周囲は火気厳禁とするとともに消火器を準備する。
5. 溶接等の作業を行う場合は、必要最小限の作業とし、火花が飛散する範囲の可燃物を除去するとともに、消火器を準備する。
6. 作業場所は整理整頓に努め、通路及び避難口には、避難の障害となる資機材等を放置しない。
7. 消防用設備等の操作障害及び防火戸等の閉鎖障害となるような資材等を放置しない。
8. 高所等での作業時は、ヘルメットを着用し、作業内容に応じて保護具(手袋・安全靴等)及び安全帯を適切に着用する。
9. 展示物は、地震時の転倒・落下・移動防止を考慮して据付ける。
10. 作業後、不要となった材料・廃材等は速やかに展示ホール外へ搬出し適切な処分をする。
11. スプレー缶等を廃棄する場合は、中身を使い切り、他の廃棄物と区分して、適切に処分をする。

第7 教育・訓練等

1. (株)東京ビッグサイト消防計画、有明 GYM-EX 防災ガイドライン及び会場管理計画等の周知及び防火・防災教育を徹底する。
2. 各消防設備の設置位置の確認をする。
3. 各消防設備使用法の確認と操作訓練をする。
4. 主催者・出展者は防火対象物自衛消防隊と連携した自衛消防訓練をする。
5. 自衛消防隊の組織図を主催者事務室等に掲示する。主催者は、開催前に訓練(初期消火・119番通報・避難誘導・応急救護等)を実施する。

第8 その他

法及び条例等並びに(株)東京ビッグサイト諸規約を遵守し、災害の未然防止に努める。

<別表1>

火災予防のための組織編成表

催事名： _____

	氏 名	役 職 名	会社名等	防火管理者 資格の有無
防火防災担当 責任者				有・無 <small>※有の場合 修了証コピー添付</small>
	展示小間名	氏 名	役 職 名	連絡先 (電話番号)
火元責任者				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：
				携帯：

備考 役職名は出展・展示における役職名を記入する。

自衛消防隊の編成と任務

会場自衛消防地区隊長（防火対象物自衛消防隊長を補佐し、会場自衛消防地区隊に対する指揮・命令・監督を行う。）			
地区隊の編成		(夜間時)	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">有明GYM-EX 防火対象物自衛消防隊長</div> <p>会場自衛消防地区隊長 役職名 氏名</p> </div> <div style="width: 65%;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>通報連絡(情報)担当 氏名 (他名)</p> <p>消火担当 氏名 (他名)</p> <p>避難誘導担当 氏名 (他名)</p> <p>安全防護担当 氏名 (他名)</p> <p>救護担当 氏名 (他名)</p> </div> <div style="width: 5%; text-align: center;"> <p>指揮者</p> <p>非常時連絡表</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>会社名 氏名</p> <p>通報連絡(情報)担当 氏名 (他名)</p> <p>消火担当 氏名 (他名)</p> <p>安全防護担当 氏名 (他名)</p> <p>主催責任者氏名 電話(携帯)</p> <p>主催副責任者氏名 電話(携帯)</p> </div> </div> </div> </div>			
※各火元責任者も消火、避難誘導を行う。			
	災害発生時の任務	南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が発表された場合の組織編成	南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が発表された場合の任務
通報連絡(情報)担当	119番通報・警備センサー等への連絡	通報連絡(情報)担当者は、情報収集担当として編成する	テレビ・ラジオ・警戒本部等より情報を収集する
消火担当	消火器及び屋外消火栓等による初期消火及び本部隊消火班の誘導	消火担当は、点検担当として編成する	担当区域の転倒、落下、移動防止措置を講じる
避難誘導担当	災害時における避難者の誘導	避難誘導担当は、同様の編成とする	本部の指揮により、避難誘導を行う
安全防護担当	水損防止・電気・ガス等の安全措置及び防火戸・防火シャッターの操作	安全防護担当は、点検担当として編成する	上記の消火担当の任務に同じ
救護担当	負傷者に対する応急処置	救護担当は、応急処置担当として編成する	危険箇所の補強・整備を行う

会場自衛消防地区隊員の任務内容

	発見者	通報連絡班	消火班	避難誘導班	救護班その他
火災発生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大声で周囲の人に知らせる。 2. 近くの警報設備の発信機を押すか、非常電話で警備センター等に知らせる。 3. 主催者事務局へ知らせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 見る、聞くことにより火災を知る。 2. 火災状況を確認する。 3. 119番通報をする。 4. 館内放送をする。(繰り返し放送する。放送文を準備しておく。) 5. 警備センター等へ内容・状況を知らせる。 6. 通報が終わったら責任者へ報告する。 7. 責任者(会場自衛消防地区隊長他)は初動対応を把握し、間隙のないようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近くの消火器を搬送して出火場所に急行し、初期消火にあたる。(複数の消火器使用が有効) 2. 屋外消火栓による消火を行う。 3. 消火の状況を地区隊長に報告する。 4. 消防隊が到着したら引き継ぐ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発災を知ったら迅速に行動する。 2. 各避難口を一齐に開放する。 3. 入場者に冷静な避難を呼びかけ、安全な方向の避難口に誘導する。 4. 全員の避難を確認する。 5. 展示ホールの応援態勢を決めておく。 6. 避難誘導の状況、負傷者の有無等、地区隊長に報告する。 <p>◆避難誘導の要領 身振り、手振りを混じえながら大声で行う。 「避難口はこちらです」</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 負傷者等が発生したら、必要な処置を行う。 2. 負傷の程度により救急車を呼ぶ。 3. 状況を地区隊長に報告する。
平常時		<ol style="list-style-type: none"> 1. 警報設備の発信機の位置を確認しておき、すぐに使用できるようにする。 2. 非常電話等の場所を確認し、その使用方法等を確認しておく。 3. 非常放送文を準備しておく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消火器の位置、数量、及び屋外消火栓の場所を確認し、使用方法を覚えておく。 2. 持ち込まれた危険物、裸火の実演等の小間を確認しておき、対処について準備しておく。 	避難口の位置び状態を確認しておき非常の際避難誘導が速やかに行えるよう避難通路の確保について徹底する。	応急救護資器材(救急箱等)の準備をしておく
その他		施設内喫煙場所以外は禁煙等の館内規則を守るよう来場者及び出展者に呼びかける。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガスからの出火等については元栓を閉めるなどの対応を行う。 2. タバコの吸殻の始末等適切な処置を出展者等に指導する。 		

放送文例

1. 平常時の火災予防の呼びかけ例文
ホール内のお客様にお知らせ致します。
喫煙所以外での喫煙は、禁止されています。
喫煙は近くの喫煙所をお願い致します。
2. 非常時の文例
火災発生
こちらは警備センターです。
ただいま、○階○○で火災が発生しました。
自衛消防隊による初期消火を行っております。
館内の皆様は、次の放送に注意してください。
自衛消防隊 避難誘導班は、配置についてください。
有明GYM-EXは耐火建築物です。
落ち着いて行動してください。

避難

こちらは警備センターです。
ただいま、○階○○で火災が発生しました。
館内の皆様へお伝えします。
現地係員の指示に従って屋外へ避難してください。
下の階へは、階段を使ってください。
なお、エレベーターは使用しないでください。
自衛消防隊避難誘導班は、避難場所へ誘導してください。
有明GYM-EXは耐火建築物です。
落ち着いて行動してください。

鎮火
こちらは警備センターです。
さきほど、○階○○で火災が発生しましたが消火活動の結果、鎮火しました。ご安心ください。
なお、○階○○付近は立ち入り禁止区域となります。
近づかないでください。

自衛消防訓練通知書

東京消防庁 深川消防署長 殿		年 月 日	
防火防災担当責任者 職 ・ 氏 名			
防火対象物の所在	東京都江東区有明一丁目10番1号		
防火対象物の名称等	有明GYM-EX	用途	消防法施行令 別表第1(4)項
事業所の名称等 (催物の名称)		用途	消防法施行令 別表第1(4)項
実 施 日 時	年 月 日		時 分から 時 分まで
訓 練 根 拠	(防火管理・防災管理) に係る消防計画	全体の(防火管理・防災管理) に係る消防計画	
訓 練 種 別	1 総合訓練 (実・空) 2 検証 (実・空) 3 通報訓練 4 消火訓練 (実・空) 5 避難訓練 (火災・火災以外) 6 その他()	1 総合訓練 (実・空) 2 検証 (実・空) 3 通報訓練 4 消火訓練 (実・空) 5 避難訓練 (火災・火災以外) 6 その他()	
参加予定人員	名	問合せ先	電話 ()
訓練概要 (具体的な内容)			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	
※ 対 象 物 番 号	敷地番号	建物番号	T-
			事業所番号 G-
※データ入力年月日	年 月 日	※データ入力者	

- 備考
- 1 ※欄は記入しないでください。
 - 2 防火防災担当責任者欄の職は展示会における職名を記入してください。
 - 3 事業所の名称等は展示会名を記入してください。
 - 4 問合せ先は主催者としてください。
 - 5 「訓練概要」の欄には、実施場所、発災想定等の具体的な内容を記載してください。
 - 6 () のある欄については、該当しない文字を二重線で消してください。

自主検査実施結果表

年 月 日 時 分実施

催事名称					
防火防災担当者		使用 ホール	有明GYM-EX		
点検実施者	印				
項目	細目			結果	対策
防火防災 管理等	1 会場管理計画書は適正に保管されている			良	否
	2 必要な場所ごとに火元責任者が指定されている			良	否
	3 自衛消防隊組織図、緊急連絡先一覧表は見やすい箇所に掲出されている			良	否
	4 展示物は地震等による転倒、落下、移動防止対策が講じられている			良	否
	5 事前に実施した自衛消防訓練の基本項目を理解し、実施できる			良	否
避難設備	1 避難口は災害時に開錠・開放できるようになっている			良	否
	2 避難通路に、つまずき、すべり等のおそれのある箇所は無い			良	否
	3 避難通路の幅員(主要5m・補助3m)は確保され、障害物も無い			良	否
	4 避難通路に行き止まり(袋小路)は無い			良	否
消防用設備	1 消火器は所定の場所に置かれている			良	否
	2 消防用設備等の操作空間は確保されている			良	否
	3 非常ベル等の表示灯、誘導灯は展示物等に隠れること無く視認できる			良	否
	4 スプリンクラーヘッド(放水銃)の散水障害となる展示物等はない			良	否
	5 自動火災報知設備の感知障害となる展示物等はない			良	否
防 炎	1 展示用合板等は防火性能(難燃材料以上)を有する物が使用されている			良	否
	2 カーペット、幕等は防火性能を有する物が使用されている			良	否
	3 防火対象物品には防火ラベル等の防火表示が付されている			良	否
電 気 設 備	1 分電盤、開閉器等の操作空間は確保されている			良	否
	2 タコ足配線、器具コードやテーブルタップを固定して使用していない			良	否
	3 ケーブル配線は適切に固定(支持)されている			良	否
	4 充電部、配線等は重量物又は機械的衝撃から保護されている			良	否
	5 熱を発生する機器と可燃物とは適当な距離が確保されている			良	否
	6 電気設備、機器の金属製のケースなど必要な箇所にはD種接地工事が施されている			良	否
	7 絶縁被覆の劣化や損傷等、短絡のおそれは無い			良	否
喫 煙	喫煙所以外では喫煙していない、させていない			良	否
禁 止 行 為	1 解除承認申請した場所以外では裸火使用、危険物品の持込みは無い			良	否
	2 適応消火器(消火能力2単位以上)が適正に管理されている			良	否
	3 火気使用設備器具等は周囲の可燃物又は避難口、危険物品から適正な距離が確保されている			良	否
	4 危険物品の持込み位置は避難口等から適正な距離が確保されている			良	否
	5 従業員等による監視、消火体制が講じられている			良	否
	6 LPガス漏れ火災警報器等は適正に管理されている			良	否
	7 準備した流出油処理剤は適正に保管されている			良	否
そ の 他					

- 備考 1 実施項目が該当しない場合は、抹消する。
 2 開館前、開館中に時間を決め、実施して事務局に保存しておく。
 3 消防検査時、提出を求められたときに提出する。

電気設備の自主安全チェック表

催事で使用する電気設備からの出火を防止するため、次の内容をチェックしてください。

年 月 日実施

NO	内容	チェック
1	熱を発生する照明器具等を装飾品、木板等に近接して設けていませんか？ (製品への表示、取扱説明書等を確認してください。)	
2	照明器具、スイッチ、テーブルタップ等で充電部（照明器具の受口など）が露出したもの、破損したもの等を使用していませんか？	
3	照明器具やコード等はしっかり固定されていますか？ ドラムリールを巻いたまま使用していませんか？ コード等踏みつけられたり、引張られたりしていませんか？	
4	水気のあるところで電気設備を使用していませんか？ (やむを得ず使用する場合は、防水対策をしてください。)	
5	定格電流の範囲内で使用していますか？	
6	使用しないプラグは抜いてありますか？ 定期的な清掃を実施していますか？	
7	出展者のブース内電気工事は、全て完了し安全に送電されていますか？	

催事名称：

点検実施者：

禁止行為の解除承認申請書

年 月 日

東京消防庁
深川消防署長 殿

届出者
住 所
電 話 ()
氏 名

火災予防条例第23条第1項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

記

防 対 象 物	所 在 地	東京都江東区有明一丁目10番1号			
	名 称	有明GYM-EX			
解除の承認を受けようとする場所 (指定場所の用途)	<input type="checkbox"/> 劇場等 <input type="checkbox"/> 飲食店等 <input type="checkbox"/> 百貨店等 <input type="checkbox"/> 屋内展示場 <input type="checkbox"/> 映画スタジオ及びテレビスタジオ		<input type="checkbox"/> 地下街 <input type="checkbox"/> 重要文化財等 <input type="checkbox"/> 車両の停車場及び船舶・航空機の発着場 <input type="checkbox"/> その他		
解除の承認を受けようとする行為	期 間	年 月 日から		年 月 日まで	
	種 類	内 容			
	<input type="checkbox"/> 喫 煙				
	<input type="checkbox"/> 裸火使用				
<input type="checkbox"/> 危険物品持込み					
※ 受 付 欄			※ 処 理 欄		

- 備考
- 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 - 2 内容欄には、裸火使用については機器名、熱源、最大消費熱量、火炎の大きさ等を、危険物品持込みについては品名、成分、数量等をそれぞれ記入すること。
 - 3 解除の承認を受けようとする場所の平面図のほか、必要な図書を添付すること。
 - 4 ※欄には、記入しないこと。

申請内容明細書

申請場所	1階ホール内		
責任者		防火管理者	株式会社東京ビッグサイト 防火管理者 確認済
解除承認を受けようとする行為	概要 (使用場所) (使用場面) (理由)		
	内容 (名称) (使用量) (成分) (性状) (取扱要領)		
	行為者		
	補足事項等	○出展者による消火・監視体制を取ります。 ○非常時には実演を直ちに中止します。	
火災予防上 講じた措置等 □欄は該当するものをV印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。	<input type="checkbox"/> 消火器の設置 [本 位置： _____] <input type="checkbox"/> 屋外消火栓の準備 [口 位置： _____] <input type="checkbox"/> 消火担当者の配置 [名 位置： _____] <input type="checkbox"/> 消防計画に定める自主検査 [最新実施年月日： _____ 年 月 日] <input type="checkbox"/> 会場管理計画の作成 <input type="checkbox"/> 訓練の実施 [最新実施年月日： _____ 年 月 日] <input type="checkbox"/> 始業時、終業時の点検等 [担当者： _____] <input type="checkbox"/> 承認行為のチェック [実施者： _____ 時期： _____] <input type="checkbox"/> 防災性能あり [□幕□敷物□大道具□その他 (_____)] <input type="checkbox"/> その他 [_____]		

- 備考
- 1 申請場所ごとに作成すること。
 - 2 禁止行為を行う位置、消火器の設置位置等を明記した使用場所の図面を添付すること。
劇場等及びスタジオの場合は、禁止行為の位置、消火器等の設置位置、消火担当者の位置周囲の状況（可燃物からの距離等）、床面の状況（材質、養生の方法等）、舞台上の人の配置等を明記すること。
 - 3 必要に応じて性能等に関する資料を添付すること。

禁止行為者等及び禁止行為申請内容一覧表

催事名： _____

記入例

小間 番号	出展会社名称	行為責任者氏名	裸 火 使 用			危 険 物 品 持 込				行 為 内 容
		連絡電話番号	機器の種別	熱 源	1時間の最大消費熱量(kW)	品 名	品 目	数 量	収納容器種別、容量	
AA-01	(株)ビッグサイト	山田太郎 03-1234-5678	カセットコンロ	ブタンガス	型番：AB-CD-00 3.5kW 1台	可燃性 ガス	ブタンガス	5本 (1.25kg)	ボンベ250g	調理
合 計										
裸火使用		社								
危険物品持込		社								

- 備考 1 裸火使用については、仕様書(カタログ)を添付。
 危険物品持込については〔(例)品名：第1石油類(非水溶性)、品目：シンナー／品名：アルコール類、品目：エタノール〕と記入すること。
 2 合計欄は、火気使用についての熱源ごとの最大消費熱量の合計を、危険物品については品名ごとの合計を記入すること。
 3 危険物品持込の数量欄には、会期合計の数値を記載すること。

消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書

年 月 日

東京消防庁
深川消防署長 殿

届出者
住 所
氏 名

下記のとおり、消防用設備等(特殊消防用設備等)を設置したので、消防法第17条の3の2の規定に基づき届け出ます。

記

設置者	住 所						電話 ()
	氏 名						
防火対象物	所 在 地	東京都江東区有明一丁目10番1号					
	名 称	有明GYM-EX					
	用 途	展示場					
	構 造、規 模	耐火造 地上3階					
		床面積	17,300	m ²	延べ面積	27,460	m ²
消防用設備等 (特殊消防用設備等)の種類		自動火災報知設備(煙・熱感知器) パッケージ消火設備					
工 事	種 別	新 設、増 設、移 設、取 替 え、改 造、そ の 他 ()					
	設計者 住 所 氏 名	住 所					電話 ()
		氏 名					
	施工者 住 所 氏 名	住 所					電話 ()
		氏 名	別紙のとおり				
	消 防 設 備 士	住 所					
氏 名							
免 状		種 類 等	交付知事	交付年月日 交付番号	講習受講状況		
	甲・乙 種 類	都 道 府 県		受 講 地	受 講 年 月		
				都 道 府 県	年 月		
着 工 年 月 日							
完 成 年 月 日							
検 査 希 望 年 月 日							
※ 受 付 欄		※ 決 済 欄			※ 備 考		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 消防用設備等設計図書又は特殊消防用設備等設計図書は、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類ごとにそれぞれ添付すること。
 3 ※欄には、記入しないこと。

催物の開催届出書

年 月 日

東京湾岸警察署長 殿

主催者
住 所
氏 名
電 話

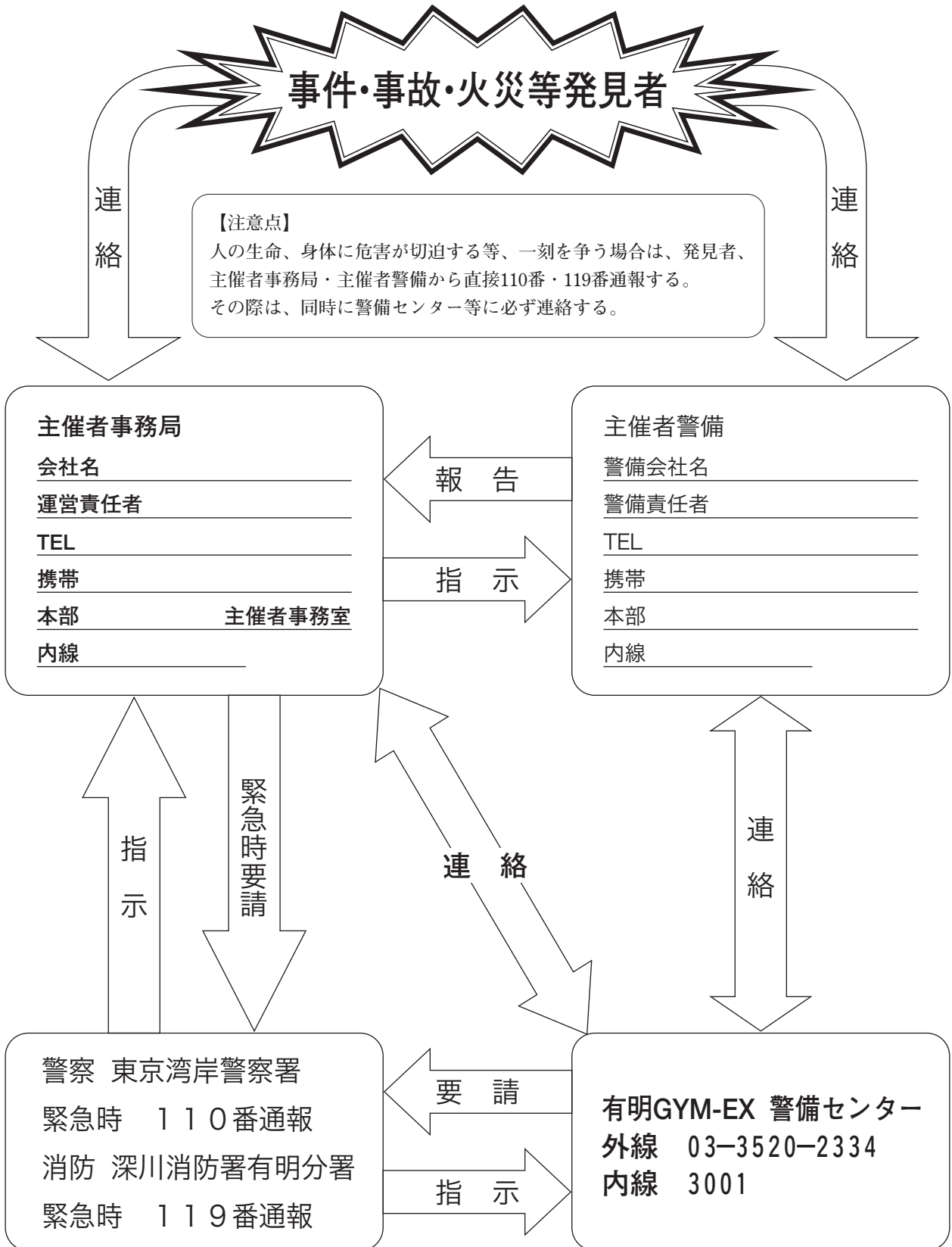
今般、下記のとおり催物を開催しますので、お届け致します。

記

催物の場所	東京都江東区有明一丁目10番1号		
催物の名称			
展示館名	有明GYM-EX		
事務局本部	主催者事務室	電話	()
催物の現場責任者		電話	()
連絡担当者		携帯	()
開催期間及び開場時間	年 自 月 日 () 至 月 日 () (日間) 自 時 分 至 時 分 (最終日は 時 分まで)		
入 場 料	無 有 (大人 円・小人 円)		
来場者予想	招待者 名	一般 名	
	最大来場見込み日及び人員	月 日 ()	名
来場者見込車両台数	一日延べ台数		台
自主警備態勢	事 務 局	延べ人数	名
	警 備 会 社	社 名	
		延べ人数	名
搬入・搬出月日	搬入 月 日 () ~ 月 日 () 搬出 月 日 () ~ 月 日 ()		
来場者に対する輸送計画	送迎バス/団体バス 一日 台 往復 (バス会社 会場~)		
開会式	月 日 () 時 分		
諸行事・VIP等			
開催に伴うPR方法	新聞・テレビ・ラジオ・ポスター (駅、車内) ・業界誌・インターネット *マイカー抑制対策 有 無		
警察に対する要望事項			
備 考			

- 備考
- 1 展示会概要を添付すること。(提出書類一覧の展示会概要の複写)
 - 2 展示会場案内図を添付すること。(来場者に作成した案内図の複写)
 - 3 会場小間配置図を添付すること。

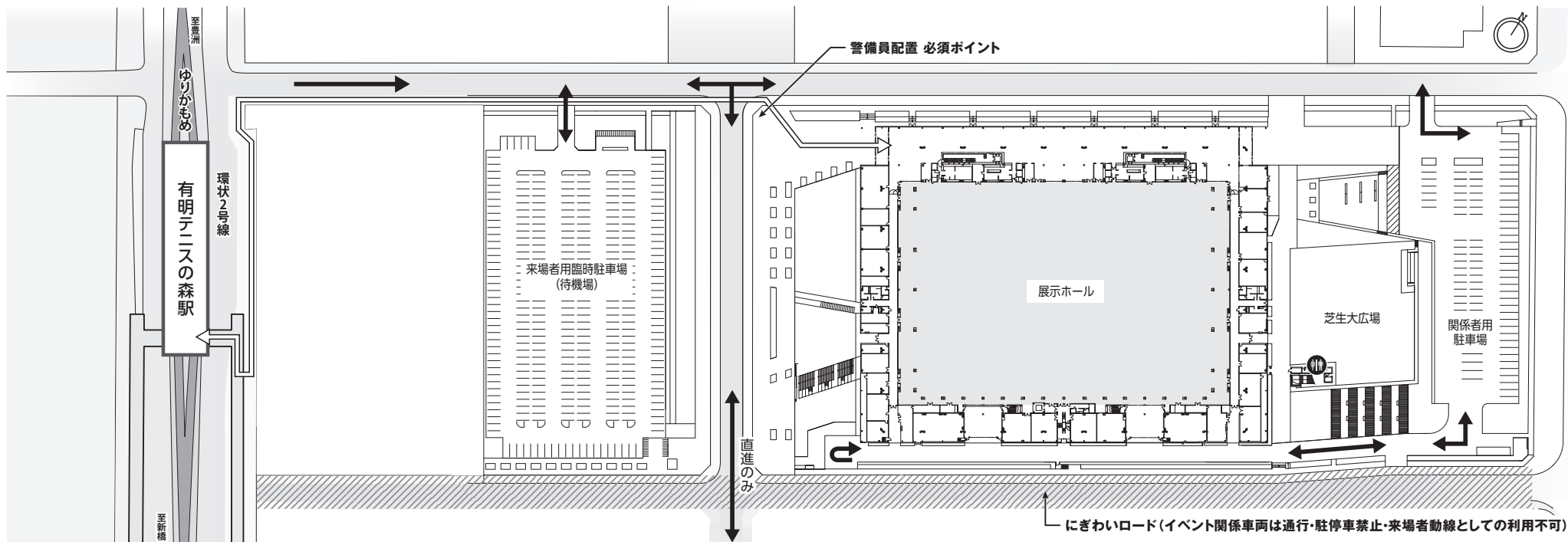
緊急連絡体制



搬入・搬出及び開催時の警備ポスト一覧表

警備場所		外 周	場 内	そ の 他
警備期間				
搬入時	警備時間	月 日 : から 月 日 : まで	月 日 : から 月 日 : まで	月 日 : から 月 日 : まで
	ポスト数			
開催時	警備時間	月 日 : から 月 日 : まで	月 日 : から 月 日 : まで	月 日 : から 月 日 : まで
	ポスト数			
搬出時	警備時間	月 日 : から 月 日 : まで	月 日 : から 月 日 : まで	月 日 : から 月 日 : まで
	ポスト数			

備考 警備配置については、搬入時、開催時、搬出時に分けて配置図を作成して添付してください。



2022年10月作成

催事名：	
場 所：有明GYM-EX	
搬入・開催・搬出	月／日：
凡例 ◊入：搬入 ◊開：開催 ◊出：搬出 ●：日勤 ： ～ ： ポスト計 ▲：夜勤 ： ～翌 ： ポスト計 →：ホールへの入の動線 ⇨：ホールからの出の動線	
警備会社：	現場担当：
連絡電話：会場内線／	携帯電話／